社説

進むの一方あるのみ

近年我國力は非常の發達にして歳に徴するも明白なり第一に貿易輸出額の增進は勿論、各種の會社の如き數年前に比して更らに面目を改め各處に其數を增したるのみならず漸く規模を大にして資本百萬圓以上のものは枚擧に遑あらず又從來民間には租稅減額の說頗る喧しかりしに今は反對に增稅を唱へて之を事實に見るも毫も負擔に苦しむの色なし戰後經營の必要に出でたりとは云ひながら畢竟人民の資力に餘裕あるの事實を表するものにして此數年間の增進に比例すれば今後の進歩はます〳〵速にして如何なる度に達す可きや我輩の殆んど想像に苦しむ所なり抑も國力の增進は人民の銘々に富みたるの結果に外ならずして試に一個人の身代を計へたらば從前に比して著るしき增加を見るは疑ふ可らず差當り吾々の眼に觸るる所に就て見るも以前の社會に於ては百萬圓以上の分限は非常の金滿家にして何十萬圓の身代さへも甚だ多からず世間に富豪の名を成したる次第なりしに近來は何十萬は勿論、百萬以上のものも決して珍らしからず現に日々身代の增しつゝあるは今日の實際にして今後ますます其勢を加へて國中幾多の財產家を生じ百萬圓なるは最早や計ふるに足らざるものと爲り千萬圓以上に非ざれば富豪金滿家の名を下さゞるに至るべしなどならん我輩は現今の有樣より推測して斯る時機の到來甚だ遠からざるを確に信するものなり人民の次第に富んで銘々に身代を起すは取りも直さず國力の增進にして誠に喜ぶ所なれども扨事の實際に斯る時勢に處する銘々の覺悟は如何す可きやと云ふに進歩の氣運は恰も陽和の氣候の如し春風駘蕩百花爛漫の好時節無情の草木も均しく東帝の恩を蒙らざるはなし既得の身代を株守して自から勉めざるも例へば所有の地面株券等は世間の發達に隨ひ自然に價を增して獨り自から財產の增殖を見るべしなどならん苟も故意に過失を犯さゞれば損するの掛念はある可らずと雖も若しも斯くの如く安閑として單に既得のものに安んずるときは假令ひ自然の勢に連れて身代の增殖を見るも其增殖は一般普通にして僅に財產の幾割を增したるに過ぎざるに世間にては何十萬のものが何百萬と爲るのみか無一物の素寒貧と輕蔑したる輩がいつの間にか遽に分限者と爲りて却て侮らるゝなどの奇談も圖る可らず現時の有樣にて云へば今の十萬圓は昔しの一萬圓なり否な何十萬圓なりなど自から安心して自から富豪を以て誇る其中に何ぞ圖らん世間を顧みれば續々非常の富豪大家を生じて其何萬圓何十萬圓は只是れ何千圓例萬圓に過ぎざるの實を發見するともわらん油斷ならぬ時節なりと云ふ可し左れば此時節に際して身代を維持して其地位を失はざらんとするには大に勵て進むの覺悟ふを肝要なれ動て進むときは自から希望の掛念もあらんなれども他の人々は勢に乘じて單身に走る其中に成功は頗かんみとを誤れて貧乏したらんには勢り跡に取殘されて淋しき思を爲すの外なかる可し何人も忍び難きは之を所なれば苟も世間に後れざらんとせば大に勵て進む可きものなり

○子爵議員の補欠撰擧

來る七月二日貴族院子爵議員一名の補欠撰擧を行ふべき旨の詔勅は昨日の官報を以て公布せられたり

○大東汽船會社の設計

今度横濱に起りし同社の目論見書は前號に記せしが尙ほ其設計の要を摘んで左に記さんに

同社の航路　即ち横濱ポートランド線は其往復航程一萬三千三十三哩にして還に東洋汽船會社にても計畫する所ありしが郵船會社も亦發て米國航路の計畫ありを以て競爭を避けて見合せたるものにして香港ポートランド間の航路は從來サヨール サヨール商會にて汽船三艘を以て航海し米國グレント ノーザン鐵道會社と聯絡を通じて營業しつゝあるものなれど同商會の船舶は何れも速力九海里を出でず積荷は僅少にして收支相償はざる由なれば大東汽船會社認可の上はサヨール商會に交渉して從來の航海を廢止し更にグレント ノーザン會社に協議して運輸の聯絡を通ずる目的なりと云ふ斯道に經驗ある郵船會社は難て計畫あるにも拘らず調査に調査を重ねて容易に着手せざる航路躍り狂ふて跳廻はるもあり飛び出すもあり慌を並べて

○子爵議員の補欠撰擧

來る七月二日貴族院子爵議員一名の補欠撰擧を行ふべき旨の詔勅は昨日の官報を以て公布せられたり

○大東汽船會社の設計

今度横濱に起りし同社の目論見書は前號に記せしが尙ほ其設計の要を摘んで左に記さんに

同社の航路　即ち横濱ポートランド線は其往復航程一萬三千三十三哩にして還に東洋汽船會社にても計畫する所ありしが郵船會社も亦發て米國航路の計畫ありを以て競爭を避けて見合せたるものにして香港ポートランド間の航路は從來サヨール サヨール商會にて汽船三艘を以て航海し米國グレント ノーザン鐵道會社と聯絡を通じて營業しつゝあるものなれど同商會の船舶は何れも速力九海里を出でず積荷は僅少にして收支相償はざる由なれば大東汽船會社認可の上はサヨール商會に交渉して從來の航海を廢止し更にグレント ノーザン會社に協議して運輸の聯絡を通ずる目的なりと云ふ斯道に經驗ある郵船會社は難て計畫あるにも拘らず調査に調査を重ねて容易に着手せざる航路躍り狂ふて跳廻はるもあり飛び出すもあり慌を並べて

○印度の銀貨自由鑄造

英國下院議員キュンバー氏は大藏總裁バルフォーア氏に質問して曰く政府は印度の造幣廠を開て銀貨の自由鑄造を許す事に付き他の諸國と熟議する前、先づ之を國會に提出して輿論の意向を問ふ可きや又且下米、佛、獨三國の國庫に貯藏する銀の高は幾許なりや若し之を知らば說明せられたしと

バルフォーア氏は曰く余は今質問を受けし事に關して政府に代はり答ふを得ず過日大藏大臣が萬國貨幣會議に對して述べし所は專ら印度造幣廠の開始にのみ關係を有するものにして國會に其所見を問ふ可しとの意に非ず次に前記三國の貯蓄する銀の高は精確に之を知ることを得ずと雖も米國の國庫には目下九千六百萬磅ありて之に對して政府の發行せる紙幣は八千八百萬磅又佛蘭西銀行の所藏高は五千萬磅にして同行は此金額に對して發行せり但し獨逸よりは未だ何等の報告をなす能はざる所なれば苟も世間に後れざらんとせば大に勵て進む可きものなり

○高陞號遭難

所に據れば同國人めに擊沈められ婦孤兒に賠償金人に付き四十兩

○軍都督

各地、佐久間の兩

○コッケリル

聞の特派通信員ケリル氏は先頃赴きカイロ府に死去せしよし其氣味ありたれば して殊に事物を に頭角を現はし 腦を振ひ同新聞 の力、與つて多 入社し東洋の通 る朝鮮事變の際 に勳三等に敍せ 外日本最貧にし 少なからざりし 多し

○星氏の辯護

裁判所屬辯護士名簿登錄取 に依り去月三十

○關西鐵道

延長工事の爲め 樂木津町百四十 に着手したるよ

○鐵道技師の

したるみとして 州地方は新設線路 之を擬當するの て技師を探すも 答しみ之がため に現に東肥鐵道 の選びに至りし 居ると云ふ

○關西新聞雜

公園內奈良倶樂部 百三十二名の多き 樹亭に休憩し事 一同打連れ立て 實物を拜觀し り會主上野理一氏 士俳優の踊り等 良の名產麩面の引 大阪奈良兩鐵道に 神戸にて開會の事

○歌舞伎座の

西銀行の所藏高は五千萬磅にして同行は此金額に對して發行せり但し獨逸よりは未だ何等の報告を得ずと雖へたり

○大阪の煙突と蒸滊力

最近調査に據れば大阪諸工場の總數は二千八百五十ヶ所にして其煙突は合計九百二十五本內煉瓦造大小四百二十六本鐵製同じく二百八本土管同じく二百九十一本、汽罐大小合計三百三十七個此公稱馬力六千五百四十一馬力、機關は二百六十七臺にして職工の數は男工二萬八千三十九人、女工二萬千二百三十人合計四萬九千二百六十九人なり而して以上諸工場に於て消費する石炭の數量は目下調査中にして未だ其詳細を知り難しと雖も大阪に輸入する年額六億斤の內四億斤は工場用に其他は鐵道用コークスの製造及び各戶使用に充つるものと見て大差なかるべしと云ふ

○招魂社の賑ひ

一昨日來靖國神社の祭禮に參拜者多く集ひて餘興の大和神樂には下あゝの所在を忘れて手に持つる杖の落つるを知らぬものも多く夜に入りてはいよ〳〵人出盛りて紅燈、社の前後を照し老幼男女の手を攜ねて往きかうもの十二時過ぎて絕えざる程なりしが昨日の賑ひは前日に倍して九段坂の如きは人もて隙殺を築きたる如く肩摩轂擊の實際を現はしたり中にも一層目立ちしは競馬にて黃紅白青紫の襷を棱に掛けたる軍人がヤッと云ふ間に乘り出す競馬場

先を競ふ樣は何れも劣らぬ佐々木、梶原、白と赤とが第一番乘かと思へば出し角に至りて却て後より來る青や黃に乘り越され無念の涙を呑んで馬の尻を打つもあり日頃は靑山練兵場、日比谷の原をも一飛にして顧もわてざるにみれしきの馬場が何のそのと眼んで見ても廣きより狹きに移りて却て窮屈を感ずるもありたるならん兩角勝負は時の運にて馬と共に躍きながら勝を取りたるものもある可く見物の場所には限りなき見物人馬場の廻り を取圍んでも見るみとの出來ぬ人多く石の煙突には黑山を築きて警官の眼玉に散りては又集るとわを蟻の如くからたちの垣樣に登りて觀合より竹竿にて攻撃をくり付けられビックリ仰天飛び下りて荒斬をつくるもあるなど中々に騷がしく路傍の露店は大に繁昌したるみとなる可し